【所轄地区:武里地区】

武里地区公民館・武里東公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取組む。

◇重点施策

1　近隣の自治会と連携し、防災をテーマにした各種事業を実施する。
2　公民館利用者の学習成果の発表を通じて利用者相互の交流等を図る。
3　地区をあげたスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深める。
4　新たに活動したい人へ情報発信を行うだけでなく、新規サークルの立ち上げを見据えた講座を開催し、地域住民の自主参加の機会を作る。

武里

◇重点事業

1　武里地区公民館防災対策事業
2　武里市民センターまつり
3　武里地区体育祭
4　サークルスタート

武里地区公民館
所在地　〒344-0033　春日部市備後西一丁目１３番２号
　　武里市民センター内
ＴＥＬ　０４８－７３５－３００４
ＦＡＸ　０４８－７３７－３０３３
E-mail　takekou@city.kasukabe.lg.jp

武里東公民館
所在地　〒344-0032　春日部市備後東七丁目３８番１６号
ＴＥＬ・ＦＡＸ　０４８－７３５－２５２７
E-mail　taketonkou@city.kasukabe.lg.jp

職　員　館　　長（兼務）舟　田　由　彦　　主　　査（兼務）小　川　裕　司
　　主　　任（兼務）内　海　美智広　　主　　任（兼務）会　田　和　彦
　　主　　任（兼務）金　澤　智　子　　主　　任（兼務）宮　本　順　子
　　主　　任（兼務）松　本　　直　　フルタイム（兼務）松　原　澄　雄
　　フルタイム（兼務）森　田　明　子　　フルタイム（兼務）染　谷　道　代

武里地区　1

事業名 テーマ	武里地区公民館防災対策事業	対象	地域住民	定員	事業により異なる
ねらい	地域防災について、それぞれの自治会が抱える悩みや課題の解消をめざして、実践を通じて、各自治会において応用できる内容で実践する。自治会と公民館の連携のみならず、自治会の横の連携も強固なものにし、情報を共有しながら、武里地区全体で継続して取り組んでいくことをめざす。				
協力機関及び団体	武里公隣防災対策連絡協議会（備後同友自治会、備後朝日ヶ丘自治会、備後須賀第四自治会）、備後宮田自治会	特色位置づけ	地域団体との連携事業	SDGsの目標No	4・11・13・17
会場	武里地区公民館	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	その都度事業の詳細を協議し、決定。	ＰＲ方法	ポスター・チラシ,広報「ぼうさい」、公民館だより		
		受付方法	その都度、異なる		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月7日(日)	10:00～10:30	会計監査	会議	0	2	2	
6月29日(土)	14:00～16:00	代表者会議・企画運営委員会合同会議	会議	6	5	11	
7月21日(日)	10:00～11:40	防災訓練事前調整会	実習	6	4	10	
8月17日(土)	9:00～10:00	防災訓練事前調整会	実習	14	5	19	
8月24日(土)	9:00～12:00	防災訓練	訓練	52	26	78	危機管理防災課、消防本部警防課
9月15日(日)	13:30～15:00	防災訓練振り返り	会議	5	6	11	
12月8日(日)	10:00～12:00	避難所開設訓練	訓練	31	25	56	危機管理防災課
2月15日(土)	10:00～11:20	代表者会議・企画運営委員会合同会議	会議	4	5	9	
3月16日(日)	11:00～13:00	防災をかんがえる日	実習	24	19	43	
3月22日(土)	10:00～11:30	代表者会議・企画運営委員会合同会議	会議	7	5	12	
不定期		広報「ぼうさい」発行					3自治会全戸配布
10回	16時間30分			149	102	251	

企画運営上の工夫	・防災をかんがえる日では、子どもの参加を促すために、実際に紙食器を作り、その紙食器を使ってカレーを食べる企画を実施した。
成果 参加者の声など	・防災訓練では、「何回やっても、もういいという事はないと、やる度に思える。」や「大変役にたちました。」等の声が寄せられた。
課題と展望	・気候等の影響や住民の高齢化等により、訓練をはじめとする行事への参加者数が低調になっており、だれでも参加できるように、内容等の工夫が必要である。

事業名 テーマ	子育てサロン	対象	0歳児～5歳児 その保護者	定員	なし
ねらい	親子で気軽に立ち寄り、育児の不安・悩みなど、子育てについての情報交換や参加者相互の交流を図る。また、専門的な知識・経験を持つ主任児童委員や保育士等への相談の場を設けることで、育児における様々な不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える。				
協力機関及び団体	春日部市民生委員・児童委員協議会 主任児童委員連絡会、こども相談課、福祉総務課	特色位置づけ	子育て支援事業	SDGsの目標No	3
会場	武里地区公民館　研修室1、研修室2、教養室1、教養室2	教材資料等			
実施までの経過	1月　各課に共催打診 4月1日(月)　公民館だより4月号以降、各号にて告知	PR方法	公民館だより各号 安心安全メール		
		受付方法	当日受付		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月9日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談	交流実習	10	22	32	
5月14日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		10	26	36	
6月 4日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		19	43	62	
7月 2日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		16	45	61	
8月 6日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		13	33	46	
9月 3日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		11	15	26	
10月 1日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		11	14	25	
11月12日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		15	31	46	
12月 3日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		5	16	21	
1月 7日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		4	16	20	
2月 4日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		7	24	31	
3月 4日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		6	14	20	
12回	18時間			127	299	426	

企画運営上の工夫	・部屋の換気やおもちゃの消毒などしながら、安心して参加できる環境づくりをする。 ・対象に乳幼児が含まれるため、授乳用の部屋を確保する。 ・気軽に参加ができるよう、申込不要とする。 ・当日の準備や運営等にも関わりながらこども相談課・福祉総務課と連携を図り、子育てサロンをきっかけとした様々な事業の新しい展開を模索する。
成果 参加者の声など	・育児で不安をもっていても自主的に相談をすることが難しい保護者も多いが、自由あそびの時間などに助産師や主任児童委員、参加者同士で世間話をすることで自然に悩みを相談する様子がみられた。 ・保育士による手遊びに子どもたちも楽しそうに参加していた。
課題と展望	・保護者同士、子ども同士の交流の場となっている。気軽に話せる雰囲気づくりを今後も行うことで、保護者同士、助産師や主任児童委員と交流をより図れるようにしたい。また、育休中のパパの参加もあり、家族での参加やパパと子どものみの参加もしやすい環境づくりや広報を行っていきたい。

武里地区　３

事業名 テーマ	家庭教育研修会 親子野球体験教室	対象	年長～小学３年生の親子	定員	２０組
ねらい	小学生期からの家庭教育のあり方について考えるとともに、親子で共通の体験をすることでコミュニケーションの一端とする。また、プロの選手から指導を受けることで、スポーツをする楽しさだけでなく、将来への希望を持つきっかけ作りとする。				
協力機関及び団体	埼玉西武ライオンズ	特色位置づけ	フレンドリーシティ提携事業	SDGsの目標No	4
会場	武里市民センターグラウンド	教材資料等			
実施までの経過	12月1日　プログラム申込み 2月27日　プログラム実施確定 3月中旬　打合せ 3月中旬　学校等チラシ配布 3月下旬　申込み開始	ＰＲ方法	学校チラシ配布 子育て情報メール		
		受付方法	武里地区公民館に直接またはメールで。		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
5月3日（祝・金）	10:00～12:00	親子野球体験教室	実習	38	17	55	埼玉西武ライオンズ ベースボールアカデミーコーチ
1回	2時間00分			38	17	55	

企画運営上の工夫	・市と包括的連携協定を結んでいる埼玉西武ライオンズの2024年度フレンドリーシティのプログラムの中から、親子で参加し共通の体験活動が行えるものを選び実施した。 ・武里市民センターの特色のひとつであるグラウンドを活用した。
成果 参加者の声など	・55人（子ども28人、大人27人）の参加があった。 ・天気が良く気温も高くなったが、体調不良者もなく終了することができた。 ・子どものアンケートには、「基本的な事でよかった」「野球がうまくなりました」「全部が楽しかった」「親子共に参加できたことが心に残った」等、また、大人のアンケートには、「こどもがプロスポーツを見ることができた」「プロの方に教えていただける機会はなかなかないので、とても楽しかったです。」「親子ともに楽しく参加できました！」等の声が寄せられた。
課題と展望	・元プロ野球選手から直接教わる機会は多くないことから、今後も企画するメリットは大いにある。しかし、体格や運動力の差による怪我予防のため、募集対象年齢が限定的になることから、事業のねらいにあった年代を対象とした事業になるよう検討していく必要がある。

事業名 テーマ	ふれあい教室 「みんなで体験　落花生をそだてよう！」	対象	幼児～中学生 その保護者	定員	60名 （最大 20組）
ねらい	子どもたちに作物を通して、食の大切さ、土に触れる大切さ等を学ぶ機会を作る。 食育の観点から、作物がどのように育つか、収穫だけでなく植えることから経験する。また、親子の育みも取り入れ、ただ参加・体験するだけではなく、ふれあいやコミュニケーション能力の向上も合わせて図るものとする。				
協力機関及び団体	菜園サークル「ワンダース」	特色 位置づけ	食物の生育を通じて人と自然に触れ合う事業とする	SDGsの目標No	11
会場	武里地区内農園	教材 資料等	育て方の手引き 落花生の種		
実施までの経過	前年度1～2月 3月1日(金) 3月16日(土)	事前打ち合わせ 公民館だより3月号 申し込み開始	PR方法	公民館だより ポスター	
			受付方法	武里地区公民館に直接または電話で。先着順。 材料費　1家族 500円。 （種代及び立札代）	

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月27日(土)	10:00～11:00	種まき	説明・実習	21	27	48	菜園サークル「ワンダース」
5月25日(土)	10:00～11:00	間引き・雑草取り	実習	20	26	46	
7月6日(土)	10:00～11:00	追肥・雑草取り	実習	18	22	40	
9月28日(土)	10:00～11:00	収穫	実習	23	29	52	
4回	4時間00分			82	104	186	

企画運営上の工夫	・作業は、種まきから始まり、間引きや追肥、雑草取り、収穫までの一連の体験を通して自然への関心・興味・感謝を持ってもらえるようにした。また、親子で参加してもらうことにより、親子の絆と信頼関係を深められるようにした。
成果 参加者の声など	・「初めて落花生を育てることができ、新鮮な体験だった。」や「子ども達と一緒にたくさん収穫できたことが良かった。」等の声が寄せられた。
課題と展望	・マンネリ化を避けるため違う農作物も検討していきたい。 ・会場スペースを考慮し人数・時間などの調整が必要となる。

武里地区　5

事業名 テーマ	ふれあい教室 キッズフェスタ	対象	小・中学生	定員	20人
ねらい	小・中学生を対象に、普段の遊びや日常生活の延長を公民館でも体験してもらい、この世代においても満足度を高めることをねらいとし、公民館をより身近なものにする。				
協力機関及び団体	・公益財団法人　日本漢字能力検定協会	特色 位置づけ	小・中学生を対象に公民館をより身近なものとする	SDGsの目標No	4・11
会場	武里地区公民館	教材 資料等	講師からの提供・作成		
実施までの経過	(夏) 6月26～27日　漢字能力検定協会へ問合せ及び講師紹介依頼 7月10～13日　講師へ連絡・依頼 7月18日・21日　講師打ち合わせ①② 8月1日　子育て情報メール配信 公民館だより8月号掲載 8月2日　申込受付開始	PR方法	・公民館だより ポスター、チラシ 市公式SNS		
	(冬) 11月中旬　企画内容検討 12月12(木)　試作品作り① 12月21日(土)　試作品作り② 1月1日(水)　公民館だより1月号掲載 2月7日(金)　前日準備	受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付。		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
8月17日(土)	13:30～15:00	「おもしろ漢字で遊ぼう！」 リアル脱出ゲーム×漢検「不思議な漢字洞窟からの脱出」 漢字の成立ち・ゲーム・クイズ	実習	3	4	7	漢字教育サポーター 武藤 修
2月8日(土)	13:30～15:00	「ふわふわおやつ工房」 蒸しぱん作り わたあめ作り ラッピング	実習	5	4	9	公民館職員
2回	3時間00分			8	8	16	

企画運営上の工夫	・世代に合わせた新しい試みを実施し、子どもたちが楽しめる公民館とする。 ・新しい試みとして、謎解きと漢検がコラボしたゲームで遊びながら漢字を学べる機会を提供し、漢字が苦手な子供にも楽しく学び、苦手意識の克服のきっかけを作った。 ・子どもでも簡単にできる、ふわふわ感をイメージしたおやつ作り(蒸しぱん、わたあめ)の講座とした。蒸しぱんはプレーン味とチョコレート味の2種類を作り、食べ比べして味や見た目、香りを楽しんでもらった。蒸しぱんが出来上がるまでの時間を活用して、わたあめ作りを行い、子どもたちを飽きさせないよう工夫した。また、バレンタインデーにも使えるラッピングの方法も楽しみながら学んでもらった。
成果 参加者の声など	・参加者全員から「楽しかった」「漢字が少し好きになった」などの声が多かった。ゲームやクイズで漢字に苦手意識を持ってた子供たちも楽しく学ぶことができた。 ・材料を混ぜ合わせることに苦労している子どもたちもいたが、自分でおやつを作り上げる楽しさや食べ物に対する興味、関心を高めることができる場を提供することができた。参加者からは、「蒸しぱんがどっちも(プレーン味・チョコレート味)おいしかった。」「混ぜるのが楽しかった。」などの声が寄せられた。
課題と展望	・「おもしろ漢字で遊ぼう！」については夏休みに入ってからの募集だったので、募集期間も短く申込人数も少なかった。次回実施の際には、夏休み前に周知し、実施時期についても7月末～8月初旬を目安に計画を進めたい。 ・募集人数等については検討が必要。小学生低学年の申込みが多いので、保護者も一緒に参加できる企画も実施していきたい。

事業名 テーマ	目指せ！星博士	対象	中学生以下とその保護者	定員	20人
ねらい	子どもたちを対象に、自然に触れ合う機会を増やすことで、心の成長を図る。また、参加者間での交流を図ることも目的とする。				
協力機関及び団体	草加天文愛好会（スペースワンダー）	特色位置づけ	観望と講義を通じて星座や自然への理解を深める。		
会場	武里地区公民館　研修室1及び屋上	教材資料等	講師作成資料 星座早見盤	SDGsの目標No	4・11
実施までの経過	1月下旬　講師打合せ 1月下旬　講師依頼 4月1日　公民館だより4月号掲載 5月11日　配信メール	PR方法	公民館だより「武里」4月号 配信メール		
		受付方法	4月20日（土）8時30分から先着順に、武里地区公民館で直接または電話で受け付ける。		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
5月18日（土）	18:30～20:30	オリエンテーション ・初夏の星座と月の観望 ・星座早見盤作り	講義及び観望	20	27	47	草加天文愛好会 （スペースワンダー） 三田　明
8月3日（土）	18:30～20:30	・ペルセウス座流星群		11	14	25	
11月16日（土）	18:30～20:30	・秋の星座と土星の観望		15	14	29	
3回	6時間			46	55	101	

企画運営上の工夫	・屋上の立入可能区域をバリケードを作ることで明示し、安全確保に努めた。 ・夜間の実施となるため、保護者同伴または保護者が送迎可能な方を対象とした。 ・天候不良の場合、映像等で講座を開催できるようにした。 ・事業実施時期を、学校の学期や休業にあわせて設定をした。
成果 参加者の声など	・天体観測についてさらに興味が沸く内容になったとの声が多数あった。 ・親子で自然と触れ合い、学べる機会になった。
課題と展望	・屋外での事業となるため、季節による寒暖や体調管理についても考慮して実施していく必要がある。引き続き安全面においても対応し、安心して参加できる事業としたい。

武里地区　7

事業名 テーマ	武里小学校放課後子ども教室 わかたけっこひろば	対象	武里小学校児童	定員	コーナーによる
ねらい	公民館近隣の小学校である武里小学校の児童を対象に、放課後あるいは土曜日の子どもの居場所作り、体験の場を提供するものとして市内で唯一公民館と学校が共催で事業を実施する。平日は小学校の空き教室やグラウンドを使って、土曜日は公民館にて、学校ではできないことを体験する場として、地域の方や公民館利用サークルを講師に迎え事業を実施する。				
協力機関及び団体	共催：武里小学校放課後子ども教室「わかたけっこひろば」実行委員会	特色位置づけ	公民館利用サークル、地域の方の協力を得て、公民館で事業を実施	SDGsの目標No	11
会場	武里地区公民館 講堂、会議室1、会議室2、会議室3、実習室、グラウンド	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	前年度の実行委員会で令和6年度の日程及び内容を協議	PR方法	チラシを武里小学校全児童に配布		
		受付方法	武里小学校で期日指定で申し込み。 参加費は、各講座で異なる。		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月22日(月)	15:00～16:00	実行委員会(会場　武里小)	会議	6	4	10	コーディネーター
6月8日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	36	19	55	どようひろばサポーター
7月13日(土)	9:30～11:30	・ドッチビー	実習	29	21	50	
8月21日(水)	9:30～11:30	・外遊び	実習	26	19	45	地域ボランテイアスタッフ
9月14日(土)	9:30～11:30	・工作　手芸	実習	29	16	45	
10月12日(土)	9:30～11:30	・料理	実習	23	13	36	
11月16日(土)	9:30～11:30	夏休み特別イベント	実習	29	11	40	公民館利用サークル
12月14日(土)	9:30～11:30	・そば打ちと楽しいおも	実習	26	16	42	
1月11日(土)	9:30～11:30	ちゃ作り	実習	16	15	31	3/8一般財団法人
2月8日(土)	9:30～11:30		実習	24	16	40	日本鯨類研究所
3月8日(土)	9:30～11:30	クジラ博士の出張授業	実習	33	33	66	
3月8日(土)	11:45～12:30	実行委員会	会議	4	8	12	
12回	21時間45分			281	191	472	

企画運営上の工夫	・公民館利用サークルをはじめ、地域の方を講師に事業を実施。参加者間でのコミュニケーションを多く持ち、活気ある場になるよう声かけを心掛けた。
成果 参加者の声など	・公民館利用サークルをはじめ、地域の方、学校関係者の協力により、様々なカリキュラムによる体験活動の場、子どもと地域の大人との交流の場を提供することができた。
課題と展望	・学校、地域、公民館が連携、協力しながら、子どもたちの安全、安心な居場所を提供し、様々な体験と地域との交流が深められる場となるように目指していきたい。

事業名 テーマ	たけさとカフェ	対象	一般	定員	20～30名
ねらい	毎月1回、気軽な雰囲気の中で1つのテーマについて学ぶ場を作る。また、市民主体の取り組みにするため、公募による企画運営委員に、事業内容の企画及び当日の運営への協力を依頼し実施する。				
協力機関及び団体	各講師の所属する機関・団体	特色 位置づけ	企画運営委員の協力による市民主体の事業	SDGsの目標No	4・11・17
会場	武里地区公民館　研修室1又は講堂	教材 資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	前年度の企画運営委員会において、プログラム内容を検討した。 実施前月発行の公民館だよりで広報	PR方法	公民館だより		
		受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月19日(金)	14:00～16:00	楽しく踊って学ぼう！ ～春日部サンバ・庄和音頭～	講義 実演	0	30	30	武里民踊会　荒木　光草子
5月17日(金)	14:00～16:00	元気！はつらつ！！ 健康づくりとフレイル予防	講義 実演	2	24	26	全国老人クラブ連合会認定健康づくり推進員　田中道子
6月21日(金)	14:00～16:00	カラダは食べた物からできている	講義	3	17	20	株式会社　明治
7月19日(金)	14:00～16:00	みんなで盆踊り！ ～音頭で夏を乗り切ろう～	講義	0	29	29	武里民踊会　荒木　光草子
8月16日(金)		楽しく食べて健康に	台風のため中止				キユーピー　株式会社
9月20日(金)	14:00～16:00	キッコーマン　食育講座	講義	5	20	25	キッコーマン　株式会社
10月18日(金)	14:00～16:00	おいしいお茶の入れ方セミナー	講義 実演	13	2	15	株式会社　伊藤園
11月15日(金)	14:00～16:00	金融犯罪の手口と対策	講義	6	16	22	(一社)埼玉県銀行協会
12月20日(金)	14:00～16:00	味わい講座 「五感がひろがるトレーニング」	講義	4	18	22	生活クラブ　生協
1月17日(金)	14:00～16:00	楽しく食べて健康に	講義	3	26	29	キユーピー　株式会社
1月17日(金)	16:15～17:15	次年度打合せ	会議	3	3	6	
2月21日(金)	14:00～16:00	春日部市出身！梅ちゃん発案のくるくるレインボー作り	講義	3	26	29	梅ちゃん、サポートメンバー
3月12日(水)	14:00～16:00	いきいき美容教室	講義 実演	1	20	21	資生堂ジャパン株式会社
12回	23時間			43	231	274	

企画運営上の工夫	・毎年、好評な事業を盛り込み、参加者の満足度を高めるようにした。 ・講義形式だけの内容にならないように、体や手先などを使いながら健康についてを学べるプログラムも取り入れた。
成果 参加者の声など	・アンケート等で開催の要望が多い好評の事業を取り入れ参加者のニーズに合わせた内容を展開することができた。 参加者からは、「久しぶりに体を動かし楽しい時間でした」や「新しい仲間ができ、うれしかった」との声が寄せられた。
課題と展望	・固定の参加者だけでなく新しい世代等の新規参加者層の獲得方法を今後検討していきたい。

武里地区　9

事業名 テーマ	オレンジカフェ「アサンテたけさと」	対象	認知症の方、その家族の方、また認知症に関心がある方	定員	なし
ねらい	地域にお住まいの認知症の方やその家族の方、また認知症に関心がある方など、どなたでも気軽に参加できる”つどいの場”として開設する。当日の運営主体となる春日部市第4地域包括支援センターの特徴を発揮できるように支援し、また、ボランティアスタッフの協力も得ながら開催する。				
協力機関及び団体	共催：春日部市第4地域包括支援センター	特色位置づけ	ボランティアスタッフの協力で運営	SDGsの目標No	4・11
会場	武里地区公民館　3階研修室1	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	実施前月及び当月の公民館だよりに掲載	PR方法	広報かすかべ 公民館だより		
		受付方法	申込み不要、直接会場へ。		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月20日(土)	10:00～11:30	脳トレパズル、 作品作り、簡単な体操 など	実習	1	19	20	春日部市第4地域包括支援センター
5月18日(土)	10:00～11:30		実習	0	17	17	
6月15日(土)	10:00～11:30		実習	2	16	18	
7月20日(土)	10:00～11:30		実習	1	19	20	
8月17日(土)	10:00～11:30		実習	4	14	18	
9月21日(土)	10:00～11:30		実習	3	22	25	
10月19日(土)	10:00～11:30		実習	2	25	27	
11月16日(土)	10:00～11:30		実習	1	17	18	
12月21日(土)	10:00～11:30		実習	3	26	29	
1月18日(土)	10:00～11:30		実習	3	26	29	
2月15日(土)	10:00～11:30		実習	2	27	29	
3月15日(土)	10:00～11:30		実習	4	29	33	
12回	18時間00分			26	257	283	

企画運営上の工夫	・毎回参加される方が多数いらっしゃるので製作するものを毎回変えたり、新しいプログラムを取り入れたりする等の工夫をした。
成果 参加者の声など	・「今日は何の日？」や「懐かしい歌を歌う」での参加者の懐かしそうな顔をはじめ、楽しそうに過ごしている様子が印象的だった。また認知症のご家族と一緒に参加された方やお孫さんの参加もあった。地域の見守りにもつながっていた。
課題と展望	・現在オレンジカフェは第4地域包括支援センターと多くのボランテイアスタッフの協力のもとで運営されているが、今後も地域の方々に認知症についての理解を深めてもらい、協力してもらえるように努めていきたい。

事業名 テーマ	オレンジカフェ	対象	認知症の方やご家族の方	定員	30人
ねらい	地域にお住まいの認知症の方やそのご家族、認知予防に関心のある方などが、気軽に活動できる集い・交流の場をつくり、認知症についての情報交換・学習・研修などを実施し、地域における認知症への理解を深める。また、地域住民ボランティアの運営スタッフによる、地域に根付いた見守り活動につなげていく。				
協力機関及び団体	共催：春日部市第5地域包括支援センター	特色位置づけ	ボランティアスタッフの協力で運営	SDGsの目標No	4・11
会場	武里東公民館　大会議室	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	実施前月及び当月の公民館だよりで募集	ＰＲ方法	公民館だより ポスター・チラシ		
		受付方法	電話で先着順に、第５地域包括支援センターで受け付け		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月13日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	9	36	45	春日部市第5地域包括支援センター
5月11日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	8	33	41	
6月8日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	11	38	49	
7月13日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	5	22	27	
8月10日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	6	30	36	
9月14日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	5	20	25	
10月12日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	11	35	46	
11月9日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	7	38	45	
12月14日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	5	35	40	
1月11日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	7	40	47	
2月8日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	4	39	43	
3月8日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	2	26	28	
12回	24時間00分			80	392	472	

企画運営上の工夫	・工作や体操を取り入れ参加しやすい雰囲気づくりに努めた。また、孤立してしまう方がでないよう、スタッフで目を配り声掛けをした。
成果 参加者の声など	・参加者同士も顔見知りになり、打ち解けていた。工作の時など、助け合いながら、制作している姿も見受けられた。毎回のオレンジカフェを、とても楽しみにしているとの声もありました。
課題と展望	・音楽鑑賞を積極的に取り入れたり、参加者も歌えるようにするともっと楽しみが広がってくるものと考えている。

武里地区　11

事業名 テーマ	えんJOYトレーニング	対象	一般	定員	30名
ねらい	健康意識を高めることで、春日部市における健康寿命の延伸を図る。最初は軽い重りから始め、筋力がついてきたら少しずつ重りを増やしていくことで効果的な筋力向上を図りひいては健康意識の向上、健康寿命の延伸を図る。また、定期的に体力測定を実施して体操の効果を確認する。				
協力機関及び団体	第4地域包括支援センター 介護保険課	特色 位置づけ	介護予防につながる講座	SDGsの目標No	3・4・11
会場	武里地区公民館　講堂	教材 資料等	えんJOYトレーニングハンドブック		
実施までの経過	前年度より継続	ＰＲ方法	令和5年度からの継続事業であり、新規受け入れ枠が少ないため、新規募集の予定は無し。		
		受付方法	欠員時に申込を受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月・2・9・16・23日	10:00～11:30	えんJOYトレーニング 毎週火曜日実施	実習	3	96	99	第4地域包括支援センター
5月14・21・28日	10:00～11:30			3	71	74	介護保健課地域支援担当
6月4・11・18・25日	10:00～11:30			3	100	103	
7月2・9・23・30日	10:00～11:30			3	118	121	
8月6・20・27日	10:00～11:30			2	84	86	
9月3・10日	10:00～11:30			1	68	69	
10月1・8・22・29日	10:00～11:30			3	117	120	
11月12・19日	10:00～11:30			2	75	77	
12月3・10・17・24日	10:00～11:30			3	126	129	
1月7・21・28日	10:00～11:30			3	100	103	
2月4・11・18日	10:00～11:30			3	114	117	
3月4・11・18・25日	10:00～11:30			4	142	146	
40回	60時間00分			33	1211	1244	

企画運営上の工夫	・カスタネットでカウントをとったり、椅子に座った方も体操ができるよう工夫した。
成果 参加者の声など	・体を動かす機会となってダンスが楽しいといった、毎回の参加を楽しみにする声が寄せられた。
課題と展望	・参加希望者が多くなる一方、サポーターの数が少ないため、負担が多くなってしまう。 ・サポーターの数を増やし、別の日程でも開催できるようにしていきたい。

事業名 テーマ	パソコンの操作を学ぼう！	対象	一般	定員	各回 6名
ねらい	パソコン初心者を対象に、日常生活に役立つ「ワード」や「エクセル」の基礎的な知識や技術を学ぶ機会として実施する。また、地域の方々が、教え合い、学び合う学習活動を通じて、交流を図る機会とする。				
協力機関及び団体	市民ボランティア	特色位置づけ	市民ボランティアの協力により運営	SDGsの目標No	4・11・17
会場	武里地区公民館 研修室３	教材資料等			
実施までの経過	3月16日(土)、5月25日(土) ボランティアスタッフ打合せ 毎月公民館だよりで広報	ＰＲ方法	公民館だより		
		受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
6月15日(土)	14:00～16:00	参加者の疑問・課題解決	実習	1	1	2	各回ともに市民ボランティア
6月22日(土)	14:00～16:00			0	1	1	
7月20日(土)	14:00～16:00			0	2	2	
7月27日(土)	14:00～16:00			0	1	1	
8月17日(土)	14:00～16:00			1	1	2	
8月24日(土)	14:00～16:00			1	1	2	
9月21日(土)	14:00～16:00			1	3	4	
9月28日(土)	14:00～16:00			0	3	3	
10月19日(土)	13:30～16:30			0	3	3	
11月16日(土)	13:30～16:00			2	0	2	
12月21日(土)	13:30～16:00			0	4	4	
1月25日(土)	13:30～16:00			1	1	2	
2月22日(土)	13:30～16:00			1	0	1	
3月22日(土)	13:30～16:00			0	0	0	
14回	26時間30分			8	21	29	

企画運営上の工夫	・参加者とボランティアスタッフとの講座内容を通じて交流や学びが多くある事業とした。 ・課題解決を集中してできるように2週連続で開催したが、受講者の参加が少なかった。このため、後期は1回あたりの開催時間を長くして実施した。
成果 参加者の声など	・「不明な点をわかりやすく説明していただき助かりました。」や「楽しく教えていただき、ありがたい教室でした。」などの声が寄せられた。
課題と展望	・参加者の課題解決のために、どのような形で実施するのがよいかを模索中である。スマートフォンの普及によりパソコン離れが進んで参加者が減ってきている。また、ボランティアの確保も課題となっている中で、講座をどのようにして継続するかを検討していきたい。

武里地区　13

事業名 テーマ	教養講座 ①春の散策～新しい市役所見学と彫刻めぐり～ ②秋の散策～大凧文化交流センターハルカイトとキユーピー五霞工場へ行く～	対象	成人一般	定員	①40人 ②30人
ねらい	地域住民に春日部市内及び近隣の風土・歴史を紹介し、郷土に対する知識や関心を深めてもらうとともに、郷土愛も深めてもらう。また、生涯学習を推進する機会とする。				
協力機関及び団体	・武里大枝公民館 ・生涯学習市民推進員 （武里地区・武里南地区）	特色位置づけ	生涯学習市民推進員との共同計画及び武里大枝公民館との共催	SDGsの目標No	4・11
会場	①春日部駅東口周辺、春日部市役所 ②道の駅庄和、ハルカイト、キユーピー五霞工場	教材資料等	散策のしおり		
実施までの経過	① 3月 5日（火）武里地区打合せ 3月13日（水）合同打ち合わせ 4月10日（水）コース下見 5月 1日（水）公民館だより5月号 5月11日（土）申込受付開始 ② 7月24日（水）打合せ 9月19日（木）コース下見 11月 1日（金）公民館だより11月号 11月 7日（木）募集開始	ＰＲ方法	①公民館だより5月号 ②公民館だより11月号		
		受付方法	①5月11日（土） ②11月7日（木） 午前8時30分から、先着順に武里地区公民館と武里大枝公民館で直接または電話により先着順に受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
①5月24日（金）	8:45～12:00	春日部駅東口（出発）→古利根公園橋→市民文化会館→教育センター→春日部市役所（解散）	見学	5	14	19	生涯学習市民推進員
② 11月21日（木）	10:00～16：00	各公民館（出発）→道の駅庄和→ハルカイト→キユーピー五霞工場→各公民館（解散）	見学	5	10	15	生涯学習市民推進員
２回	9時間15分			10	24	34	

企画運営上の工夫	・生涯学習市民推進員との共同企画、及び武里大枝公民館との共催とした。①では、春日部の魅力の一つである彫刻を巡り、職員による細やかな説明により身近に感じてもらえるようにした。また、②では、道の駅で地元の食材等を感じてもらい、購入したお弁当をハルカイトで食べれるようにし、食後に大凧の文化について学べるようにした。さらに、普段徒歩で行けないキユーピー五霞工場の見学を行った。
成果 参加者の声など	・①「彫刻のあるまちかすかべ」を深く知ってもらう散策となった。参加者からは、彫刻を意識してみることができた。数々の彫刻素晴らしかったです。などの声が寄せられた。 ・②地元の食材を知ってもらうとともに大凧の文化に触れてもらえる散策となった。参加者からは、ハルカイト、キユーピー五霞工場など大人の社会科見学として、楽しい時間をすごしました。小さな旅で楽しかったです。等の声が寄せられた。
課題と展望	・事業開始以来市内の数多くの史跡や名所を散策しており、散策コースの選定であらたな散策地を定めることが課題となりつつある。今後は、過去の散策場所でも楽しく魅力ある企画を付加するなど、内容を充実させて実施できるよう、生涯学習市民推進員と連携を図ることが求められる。

事業名 テーマ	武里市民センターまつり	対象	一般	定員	各部屋ごとに設定
ねらい	公民館利用者の学習成果の発表及び公民館自主企画等の実施を通じて、利用者相互の交流と地域住民の公民館活動への理解を深めると共に利用者の拡大を図る機会とする。				
協力機関及び団体	・武里市民センターまつり実行委員会 ・運営協力員 ・武里公隣防災対策連絡協議会	特色位置づけ	・実行委員会形式 ・公民館企画の実施	SDGsの目標No	11
会場	武里地区公民館（全館）・寿楽荘	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	6月14日～7月5日　参加申込受付 7月20日　第1回実行委員会 9月28日　第2回実行委員会 10月12日　第3回実行委員会（臨時）	PR方法	公民館だより6月～10月号（周知・参加募集） 市公式SNSにて周知 ポスター掲示		
		受付方法	（展示・ステージ・体験・公民館企画） 公民館窓口にて参加申込書を配布		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	合計	講師・助言者の職名 氏名
		中止					
回	時間		延べ				

企画運営上の工夫	・令和6年度の開催に向けて、参加団体・個人を募り、実行委員会を重ね準備等を進めてきた。急遽決まった衆議院議員選挙と日程が重なり、公民館が選挙会場となっていることから、令和6年度の開催について、10月12日に臨時の実行委員会を開催し検討した結果、中止となった。
成果 参加者の声など	・参加を予定していた団体からは日ごろの活動成果を発表する場がなくなったことや、発表や展示を楽しみにしていた市民からも中止になったことを残念がる声が聞かれた。
課題と展望	・センターまつりの運営の仕方や実行委員会の在り方について再考する必要がある。 ・令和7年度は日ごろの活動成果を存分に発表し、盛り上げることができる企画内容・運営方法を参加団体・個人・協力員をはじめ、地域の方々と協力しながら考えていきたい。

武里地区　15

事業名 テーマ	令和6年度春日部市民体育祭 第64回武里地区体育祭	対象	一般	定員	種目ごと
ねらい	地区住民を対象として主体的に開催し、だれでも気軽に参加でき、地区をあげてのスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深めて、健全な地域の発展を図る。				
協力機関及び団体	主催：春日部市 武里地区自治会連合会 武里地区公民館 武里東公民館 主管：武里地区体育祭実行委員会 協力：第4・第5地域包括支援センター 大沼中学校・武里中学校・ 春日部南中学校	特色 位置づけ	武里地区内の自治会のコミュニティの場として。及び体育の振興の場として。	SDGsの目標No	3・11
会場	武里小学校校庭	教材 資料等	プログラム（地区内全戸配布） 各競技参加者に賞品		
実施までの経過	5月19日　市実行委員会 6月9日　プログラム検討会議 6月16日　企画運営会議 7月20日　地区代表者会議 9月15日　実行委員会 10月12日　前日準備 10月13日　地区体育祭	PR方法	公民館だより7・9・10月号 各自治会及び管内学校、ポスター配布依頼（9月） プログラム全戸配布（10月）		
		受付方法	地区対抗、事前・当日受付種目を除き地区住民が自由に参加する。		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
10月13日（日）	9:00～15:00	9チーム対抗 地区対抗種目　4種目 自由参加種目　11種目 事前・当日受付種目　2種目	競技	1400	1200	2600	
1回	6時間			1400	1200	2600	

企画運営上の工夫	・レクリエーション要素を取り入れるため、自由参加種目を増やした。また地区対抗種目では予選を廃止し2グループでの決勝とした。年齢層が高くなっているため走る距離も短くした。選出できる競技役員の人数が少なくなったため、地区内中学校に協力をお願いした。
成果 参加者の声など	・天候に恵まれ、また大きなけが等もなく、体育祭を終えることができた。また、概ねタイムスケージュール通りの開催ができ、スムーズな運営となった。競技種目の見直しにより全体的に満足度の高い体育祭となった。
課題と展望	・当初の見込みより参加者が少なく賞品が多く残った種目があった一方で、参加希望者が多く、出場制限を実施する種目もあるなど、参加見込み数を前年実績値とするなどの改善が必要である。

事業名 テーマ	人権教育研修会	対象	公民館利用者 及び利用予定者	定員	武里200名 武里東150名
ねらい	人権についての学習機会をつくり、人権意識の高揚を図る。				
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	公民館利用者会議とあわせて実施	SDGsの目標No	4・10・11
会場	①武里地区公民館講堂 ②武里東公民館大会議室	教材 資料等	DVD映画 「スマホは情報モラルが大切」②		
実施までの経過	12月7日（土）　開催通知配布 1月1日(月)　　公民館だより1月号 1月16日(木)　申し込み締め切り	PR方法	開催通知（窓口配布） 公民館だより1月号		
		受付方法	1月16日（木）までに参加希望会場に直接または電話で。		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
1月25日（土）	10:40～11:05	DVD上映 武里地区公民館	鑑賞	11	19	30	
1月25日（土）	14:45～15:10	武里東公民館	鑑賞	6	5	11	
2回	50分			17	24	41	

企画運営上の工夫	・多くの方が利用しているSNSについて、上手に使えば大変便利で人生を豊かにする一方、正しく使用しないと危険な目にあったりするといった問題をDVD上映を通じて、啓発の機会となるようにした。 ・「個人情報流出」「炎上」など具体的内容で、情報モラルについてわかりやすいDVDを選定した。
成果 参加者の声など	・参加者からは「SNSの恐ろしさは選挙などでも問題となってますが、小学生の高学年より学ぶことが必要」などとの意見があり、改めて情報のモラルや流出について理解を深める機会となった。
課題と展望	・人権についての意識や知識を深める場となるよう引続き啓発に努めていく。

武里地区　17

事業名 テーマ	サークルサポート	対象	一般	定員	特定せず
ねらい	地域住民のサークル活動への自主参加の機会を作る。サークルが継続して活動できるよう支援する。				
協力機関及び団体		特色 位置づけ		SDGsの目標No	11
会場		教材 資料等			
実施までの経過		ＰＲ方法	公民館だより		
		受付方法	随時受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月1日(月)～ 3月31日(月)		公民館だよりに随時掲載					

企画運営上の工夫	・特定の期間での実施ではなく、随時対応とし、主に既存サークルの会員募集を行った。
成果 参加者の声など	・令和6年度は11団体から会員募集の申込みや発表会などの掲載依頼があり、公民館だより等で周知したことで会員の増員につながり、活動の幅が広がった。
課題と展望	・サークル活動を継続していくうえで課題の多くは、会員の減少や高齢化である。 ・今後も、公民館活動への参加のきっかけとなる機会や情報を提供し、支援していく必要がある。

事業名 テーマ	①令和6年度武里地区公民館利用者会議 ②令和6年度武里東公民館利用者会議	対象	公民館利用者 及び利用予定者	定員	武里200名 武里東150名
ねらい	公民館利用者相互、利用者と公民館との交流・連絡調整を行い、公民館の円滑な利用を図る。武里地区公民館と武里東公民館のそれぞれで実施する。				
協力機関及び団体		特色 位置づけ	人権教育研修会とあわせて実施	SDGsの目標No	4・11
会場	①武里地区公民館　講堂 ②武里東公民館　大会議室	教材 資料等	会議資料 公民館へのご意見・ご要望		
実施までの経過	12月7日(土)　開催通知配布 1月1日(水)　公民館だより1月号 1月16日(木)　申し込み締め切り	PR方法	開催通知(窓口配布) ポスター 公民館だより1月号		
		受付方法	1月16日(木)までに参加希望会場に直接または電話で。		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
1月25日(土)	10:00～10:40	武里地区公民館	講義	11	19	30	
1月25日(土)	14:00～14:45	武里東公民館	講義	6	5	11	
2回	1時間25分			17	24	41	

企画運営上の工夫	・開催案内について公民館利用者(団体)に幅広く行き渡るよう掲示や窓口での周知を実施した。 ・同時に人権教育研修会を開催し啓発に努めた。 ・武里地区公民館では、地区センターに関するアンケートを実施した。 ・当日参加できなかったサークルには会議資料を後日配布した。
成果 参加者の声など	・公民館の利用に関して、使用申請や活動中の安全確保など改めて公民館の使い方について確認を行った。 ・地区センター機能についても防災、学習スペースへの意見交換ができた。
課題と展望	・公民館利用者(団体)に利用規則や利用方法を幅広く理解してもらえる機会となるので、多くの方が参加できるよう工夫していく。

武里地区　19

事業名 テーマ	グラウンド利用団体代表者調整会議	対象	グラウンド利用者及び利用予定者	定員	特定せず
ねらい	公民館グラウンドの円滑な利用を図る。				
協力機関及び団体		特色位置づけ	グラウンド利用団体及び利用予定団体による利用枠調整	SDGsの目標No	11
会場	武里地区公民館　研修室1	教材資料等	会議資料		
実施までの経過	実施月の公民館だよりで告知	ＰＲ方法	公民館だより		
		受付方法	当日受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月21日(日)	10:00～11:00	翌月・翌々月分の利用枠調整	協議	17	4	21	
6月16日(日)	10:00～11:00	〃	協議	18	2	20	
8月18日(日)	10:00～11:00	〃	協議	15	2	17	
10月20日(日)	10:00～11:00	〃	協議	19	1	20	
12月15日(日)	10:00～11:00	〃	協議	16	2	18	
2月16日(日)	10:00～11:00	〃	協議	18	2	20	
6回	6時間00分			103	13	116	

企画運営上の工夫	・グラウンド利用の枠を協議する場としてだけでなく、熱中症・運動時の怪我防止等を呼びかける場とした。また、「自分たちのグラウンド」という意識を持ってもらえるよう、利用団体による除草作業も行った。
成果 参加者の声など	・グラウンドの利用がスムーズに進むとともに、グラウンドの整備活動に積極的に協力する団体が増えつつある。
課題と展望	・利用者団体の意見や要望を聞くとともに、グラウンドの円滑な利用を図るため、今後も会議を実施する必要がある。また、定期的な除草作業を行ってはいるものの、十分な整備には程遠い状況があり、作業時間並びに回数の増加、内容の改善などの課題がある。

事業名 テーマ	公民館だより「武里」の発行	対象	地区内全世帯	定員	発行部数 15,600部
ねらい	公民館事業の案内や報告、地区内社会教育団体の行事や会員募集記事などを掲載し、学習情報を提供する。				
協力機関及び団体		特色位置づけ		SDGsの目標No	4・11
会場		教材資料等			
実施までの経過	毎月15日頃　記事編集 22日頃　印刷 月末　配布	ＰＲ方法			
		受付方法	掲載依頼記事は、前月10日までに公民館に申込み		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
１２回		公民館だよりの発行 A4両面刷（A3の場合あり）					

企画運営上の工夫	・公民館事業等の情報を、分かりやすく伝えると共に、魅力ある紙面づくりに努め、公民館活動への参加や理解・関心を深めてもらえるように心がけた。記載記事をより見やすいレイアウトやわかりやすい文章に心がけ、イメージが膨らむ写真やイラストを入れて編集した。
成果 参加者の声など	・主催事業の申込みやアンケートによると、公民館だよりから情報を得たということが多いことから、事業実施の上で重要な広報手段となっている。また、サークルからのお知らせ情報を掲載することで利用団体の活動を支援できた。
課題と展望	・今後も一層、必要な情報を正確に伝えるためにレイアウト等を工夫し、見やすく、分かりやすい魅力ある紙面づくりに努め、多くの方へ情報発信をしていきたい。

武里地区　21　【防災・防犯の拠点に関する事業（地区センター事業）】

事業名 テーマ	教養講座 防犯およびスマホ講座	対象	６５歳以上	定員	各回10名
ねらい	６５歳以上の方を対象にスマートフォンの簡単な操作方法を教えることで、ＤＸの推進を図る。また、詐欺等の犯罪被害にあわないための講座も行うことで防犯機能の向上も図る。				
協力機関及び団体	行政デジタル改革課 くらしの安全課	特色位置づけ		SDGsの目標No	4・11
会場	武里地区公民館　2階会議室1	教材資料等	なし		
実施までの経過	実施前月の公民館だよりに掲載	ＰＲ方法	公民館だより		
		受付方法	武里地区公民館に直接または電話で。		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
11月8日(金)	13:30～15:00	防犯およびスマホ講座	実習	2	7	9	
11月8日(金)	15:30～17:00	防犯およびスマホ講座	実習	3	5	8	
2回	3時間00分			5	12	17	

企画運営上の工夫	・スマホの操作教室にあわせて、詐欺等の犯罪被害にあわないための講座を行うことで、参加者のスマホ操作技術と防犯意識の向上を狙った。
成果 参加者の声など	・参加者からは、「この様な教室をもっと回数を多く開いてほしい」や「スマホを買い替えたばかりで苦労していたが、フレンドリーな対応で教えていただきとても良かった。」、「詐欺の電話がかかってきたばかりなので参考になった。」等の声が寄せられた。
課題と展望	・スマホの操作教室について、職員が講師となって実施することから、1回の定員を多く設定できない。